

環境経営レポート

【レポートの対象期間：2024年度：2024年1月～2024年12月】

株式会社吉坂製作所

《ご挨拶》

弊社は、昭和28年(1953年)の創業より埼玉県妻沼町(現熊谷市)で金属プレス加工のスペシャリストとして金型設計製作、精密プレス加工を主軸とした事業展開を図って参りました。そのテーマとしては「精密プレス加工技術でお客様に付加価値を提供する」というものです。品質に関しましても環境同様に重点を置いており平成15年(2003年)にISO9001を認証取得し現在に至るまで玉成を重ねてまいりました。また、測定機器については、より高精度が求められる今の時代に合致したものづくりに対応できるよう三次元画像測定器を始め各種測定機を取り揃えて常に高精度な測定ができる体制構築をしております。弊社はこれからもお客様のご満足を得られる様、現状に甘んじる事無くQ(品質)C(コスト)D(納期)S(安全)に於いて日々精進していきます。

株式会社 吉坂製作所
代表取締役

吉坂 一實



《目次》

1. 組織の概要	P-1
2. 環境経営方針	P-2
3. 実施体制	P-3
4. 環境経営目標とその実績	P-4
5. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	P-5
6. 環境経営目標及び環境経営計画（中長期）	P-6
7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	P-7
8. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P-7

1. 組織の概要

1. 事業所及び代表者名

株式会社 吉坂製作所
代表取締役社長 吉坂 一實

2. 所在地

〒360-0201 埼玉県熊谷市妻沼1900

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 常務取締役 木村 由紀夫
環境管理責任者 : 管理部長 早川 剛
担当（副責任者） : EA21事務局 小谷 照雄
TEL : 048-588-0369
FAX : 048-588-5363

4. 事業の内容

精密金属プレス金型設計製作・精密プレス加工

5. 事業規模

活動規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	百万円	664	698	641	640
従業員数	人	39	40	40	38
延べ床面積	m ²	2,772	2,772	2,772	2,772

6. 対象範囲

対象範囲（認証・登録範囲）

株式会社 吉坂製作所 全組織及び全活動

2. 環境経営方針

株式会社吉坂製作所 環境経営方針

1、環境理念

国際社会の一員として「環境保全」を事業活動の要点と定め
地球環境に調和した事業活動に努めます。



2、基本方針

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

- 1) 当社の主力事業である、金型の設計・製作からプレス加工までの各領域において、
技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減すると共に
循環型社会の実現に努めます。
 - ① 二酸化炭素排出量削減の為、使用電力削減・使用化石燃料削減・廃棄物の
単純焼却の削減に努めます。
 - ② 事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑制すると共に再使用の向上に努めます。
 - ③ 限りある水は、使用量削減の為節水に努めます。
 - ④ 不良削減に努め、上記①の活動を推進します。
 - ⑤ 2S(整理整頓)活動を推進し、工数削減・ムダ削減・省力化に努めます。
- 2) 環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境経営目標・環境経営計画を策定し
取り組みます。
策定した環境経営目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。
- 3) 事業活動に於いて、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
- 4) 環境経営方針は、全社員に周知すると共に、環境教育を行い社員の環境に関する
意識の向上を図ります。
- 5) 環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを
図ります。

制定日 2022年12月12日

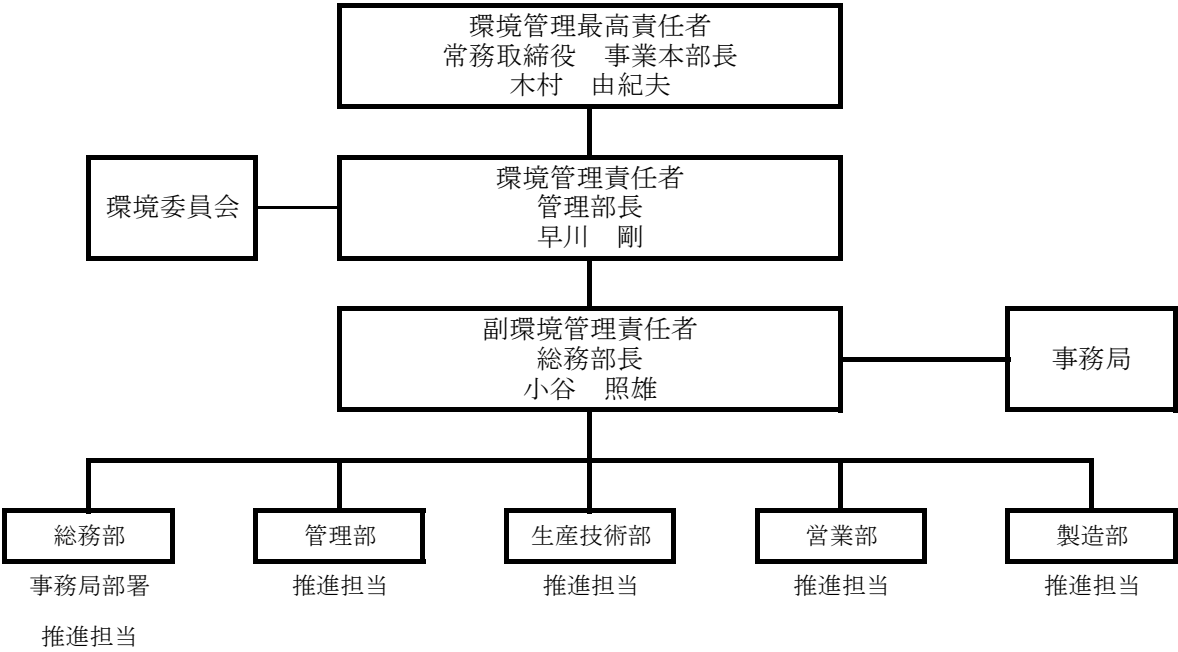
株式会社吉坂製作所
環境管理最高責任者
常務取締役事業本部長

木村 由紀夫

YOSHIZAKA
Manufacturing Corporation

3. 実施体制

制定：2022年12月12日



職 名	役 割
環境管理 最高責任者	①環境管理責任者をはじめ、部ごとの役割ごとの必要な責任者及び推進担当を任命する。当該責任者には現在の責務に関わりなく兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境経営方針を制定する。 ④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じて改訂を指示する。
環境管理責任者	①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効率的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築・運用を円滑に行い、環境管理最高責任者による、見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を環境管理最高責任者に提供する。
副環境管理責任者	環境管理責任者の補佐として環境管理責任者不在時及び繁忙時にその代理を行う。 その際には環境管理責任者と同等の権限を持つ。
事務局（総務部）	事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会 （経営戦略会議内）	環境管理最高責任者・環境管理責任者・副環境管理責任者・推進担当・事務局で構成する。 主に月1回の経営戦略会議内で実施し、各部の経営戦略会議出席者は会議内容を推進担当及び必要に応じてその他構成員に説明する。 必要に応じて上記メンバーに加えて必要人員を招集し別途開催する事もある。 環境経営目標の設定、環境経営計画の策定及び進捗管理について協議する。

4. 環境経営目標とその実績

1. 環境目標とその実績

	環境経営目標	基準値	今年度目標				今年度の評価
		2021年度	2024年				
		実績	目標	目標値	実績	達成状況	
1	売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂ /百万円)	579.3	2021年実績に対して3%削減	561.9	517.0	基準に対して10.8%削減目標達成	電気、軽油、灯油は基準年より削減出来ました。今後共エネルギー削減に努めます。
2	売上高100万円当たりの廃棄物排出量の削減(kg/百万円)	12.5	2021年実績に対して3%削減	12.1	5.9	基準に対して52.9%となり目標達成	一般廃棄物の発生量は基準年より増加したが、産業廃棄物の発生が削減できました。
3	売上高100万円当たりの水資源投入量の削減(m ³)	0.406	2021年実績に対して3%削減	0.394	0.608	基準に対して49.7%増加目標未達	上水量及び地下水量共に増加しました。節水に努めます。
4	化学物質取扱及び管理の徹底	—	取扱商品の調査	—	取扱商品一覧が作成された	達成	化学物質の取扱一覧表に従い化学物質を管理していきます。
5	本業に関する目標	不良件数削減による材料・電気・加工油・ガソリンのロス低減				前年比1.4%削減達成	前年比で達成出来ました

*購入電力の排出係数は、四国電力(株)0.408kg-CO2/kWh、東京電力エナジーパートナー(株)0.441kg-CO2/kWh、アストマックス(株)0.47kg-CO2/kWhを使用しています。 R2年度実績 (R4.1、7環境省・経産省公表-R4.7.14一部追加)

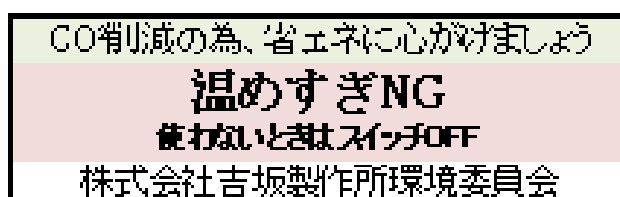
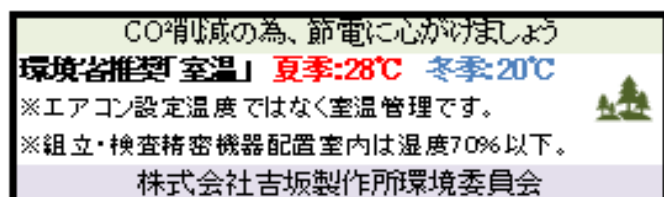
2. 主な環境負荷実績（総量）

環境への負荷	2021年度 (基準年)	24年度
①二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	385,461	330,867
②廃棄物排出量(kg)	8,325	3,770
③水資源投入量 (m ³)	270	389

5. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

空調温度適正化・表示

ジェットヒーター



環境に配慮した取組等

通報訓練・消火訓練・従業員全員で実施



加工油缶転倒時の対応訓練



6. 環境経営目標及び環境経営計画（中長期）

環 境 経 営 目 標						環 境 経 営 計 画
	項目	基準年 (実績)	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標	実施事項
1	売り上げ 100万円当 り二酸化炭 素排出量 の削減(kg- CO2/百万 円)	2021年度 (579.3)	2021年度 に対して 4%減 (556.1)	2021年度 に対して 5%減 (544.8)	2021年度 に対して 6%減 (533.7)	①空調温度適正化・表示
						②照明・PC電源不要時のOFFの推進
						③エアコン・フィルター・室外機清掃の実施
						④エコドライブ推進
						⑤社用車の点検・整備
						⑥電力、ガソリン量の集計
2	売り上げ 100万円当 り廃棄物排 出量の削 減(kg/百万 円)	2021年度 (12.5)	2021年度 に対して 4%減 (12.0)	2021年度 に対して 5%減 (11.9)	2021年度 に対して 6%減 (11.8)	①分別ルールの徹底・裏紙の使用
						②加工油使用の削減・廃棄物置場の整備
						③廃棄物排出量の集計
						④裏紙使用ルールの徹底
3	売り上げ 100万当 たりの水使用 量の削減 (㎡)	2021年度 (0.406)	2021年度 に対して 4%減 (0.390)	2021年度 に対して 5%減 (0.386)	2021年度 に対して 6%減 (0.382)	①毎月のメータを確認する(漏水防止)
						②節水表示
						③節水ノズルへの交換
						④トイレの節水
4	化学物質 取扱及び 管理の徹 底	一 覧 の 策 定	PRTR該 当 品 の 監 視	PRTR該 当 品 の 監 視	PRTR該 当 品 の 監 視	①取扱商品(化学物質含有)の調査
						②購入量の把握
						③SDSの入手
						④取扱商品一覧表の作成(経営戦略会議で提示)
						⑤加工油SDS一覧の策定(化学物質含有の場合)
						⑤材料SDS一覧の策定(化学物質含有の場合)
5	本業に関 する目標	①不良削減による材料・電気・加工油・ガソリンのロス低減				

次年度の環境経営目標及び環境経営計画について

2021年度を基準とした中長期削減目標で次年度も進める。
同じく、環境経営計画も前年度と同じ計画で進める。

7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
騒音規制法	特定施設の届出	遵法
振動規制法	特定施設の届出	遵法
フロン排出抑制法	簡易点検 4回/年 定期点検 1回/1年 冷却装置 1回/3年 業務用エアコン	遵法
浄化槽法	保守点検実施、法定検査実施	遵法
廃棄物処理法	委託基準（契約書・許可証）、 マニフェスト交付・保存及び交 付状況報告、水銀使用製品廃棄 物の適正保管及び処分	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

2025年1月10日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

現在、公害防止管理者・統括者を選任すべく対応を進めています。

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2024年度は環境経営目標5種6項目に対し達成は4項目、未達成2項目となった。未達成は水資源投入量が削減しきれていない事、プレス稼働率の評価方法が確立しきれていない事の2つである。

社内活動としてはプレス工場内の大型エアコン4機の更新等費用は大きく掛ったがCO2削減活動としては具体的に前進した面もある。

今期改善しきれていない2項目については社員に環境意識が浸透していない証左である。2025年度は環境推進担当を通じた環境意識の醸成を図り水資源を大切に使う、不良件数削減をCO2削減という観点からも正確に把握し改善する事に重点をおいた活動を展開する。2025年度は社内協調して目標を完遂していく。

①環境方針：変更不要 ②環境目標：中長期目標の継続 ③環境活動計画：中長期目標の環境経営計画実施事項に明示。 ④実施体制：変更なし ⑤その他：特になし